



# 学校だより

平成29年1月24日  
四日市市立小山田小学校

先週は、この冬一番の寒波により、記録的な大雪に見舞われました。

本校では、1月16日（月）、17日（火）の2日間を臨時休校としました。初日の対応（小中の連携、「すぐメール」による連絡など）が遅れ、子どもたちや保護者の皆様にご心配やご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

この2日間、職員一同で駐車場や校庭通路の雪かきをしたり、校区内を巡回して状況確認をしたりしながら、今後の対応について検討を重ねました。

降雪が収まった18日（水）は、通勤ラッシュ時を避けるねらいで全地区8時30分集合出発として対応しました。その上で、職員による登校引率や危険個所の見守りなどを行い、保護者の皆様にも可能な限りのご協力をお願いしました。

子どもたちは、凍結箇所が残る通学路を大変な思いをしながら登校し、10時前には授業を始めることができました。各教室では、ストーブで体を温めた子どもたちの元気いっぱいの姿を見ることができて、ホッと一安心をしました。

また、その日は、積雪により運動場を利用できないために、地区別に子どもたちを体育館前に集めて、集団下校を実施しました。登下校時にご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。



雪の通学路



通学路の雪だるま



運動場は一面の銀世界



タイヤ広場も一面の銀世界



駐車場の雪かきをする先生



ストーブであつたまろう！

## 自分で考えて行動した！避難訓練（1月20日）

1月20日（金）の20分休みに、震度5以上の地震が発生したという設定で避難訓練を行いました。

実際の場面を想定して、子どもたちには訓練日を知らせずに実施しました。先生がいない教室以外の場所においても、放送をよく聞き、自分で考えて冷静に行動することが訓練のねらいです。

「物が倒れるくらいの揺れがすぐにきます。ピピピ…！」緊急地震速報が流れると、子どもたちは、教室やろうかなど各々の場所で一斉にダンゴムシのポーズ（身を低くして頭を守る姿勢）をとりました。

揺れが収まるのを待って、次は安全な場所への避難です。今回は、運動場が使えないために体育館に集まるように放送で指示がありましたが、子どもたちは静かにスムーズに集合することができました。

各学級で人数確認をした結果、行方不明の児童が一人いることがわかり、担当者から校舎内を確認するように職員に向けて大声で指示が出ました。訓練とわかっていながら、体育館の子どもたちの間に緊張感が走りました。負傷者役の児童が担架で運ばれてきたのを見て、子どもたちは約束を守って避難することの大切さと、先生たちの役目についても理解してくれたことと思います。

今回は、シェイクアウト訓練もあわせて実施しました。ぜひ、ご家庭でも地震に対する備えについて皆様でお話し合いをしていただきたいと思います。



ダンゴムシのポーズ



「お・は・し・も・て」で避難しよう！



行方不明者を無事に救出



# おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信



小山田小学校長

## 学校づくりビジョン～めざす子どもの姿～ 健康な心と身体を育む子ども

### 体育の授業風景 ～「なわとび」見合い・教え合い～

ある日の体育館での1年生の体育の授業。整列して準備体操をした後、先生の合図で、体育館を自由に走り回ります。突然、ストップの合図。その瞬間のポーズ（片足立ち、寝っ転がり、しゃがみなど）のまま時間が止まります。そしてまた、合図で走り出します。体が温まったところで、縄跳びの練習。

前回し跳び、後ろ回し跳び、あや跳びなど。「ちょっと〇〇さんの跳び方見てみよう！」ここでも見合い、教え合いをします。友だちのよいところを真似ることは、上達への近道。最後には、縄跳の結び方を優しく教え合う姿も見られました。



ストップ！ そのままのポーズで！



この跳び方、どこが上手かな？



手のつき方が上手だね！

### 体育の授業風景 ～「マット運動」見合い・教え合い～

ある日の体育館での3年生の体育の授業。子どもたちは、体育館に置いたマットで思い思いに前回りや後ろ周りの練習をしています。

「集合！」先生の合図で、全員がサッとマットを囲み、体育座りをします。「〇〇さんに一度やってもらいます。どこが上手かよく見てください。」選ばれた子は張り切って披露します。見つめる周りの子の目も真剣です。「じゃあ、もう一回自分たちで練習しよう！」「はい！！」子どもたちは、ますます意欲的に技の練習に取り組みます。

### 保健の授業風景 ～「インフルエンザについて」～

発育測定後の時間を利用して、養護の三浦先生と栄養士の小林先生による保健指導がありました。高学年は、パワーポイントで資料を見ながら、インフルエンザの症状や、予防には手洗い・うがいが大切なことを学びました。また、感染経路については、せきやくしゃみによる飛沫感染の他に、食べ物などを通して口から入ることを学びました。その中で、おしゃべり、せき、くしゃみによるウィルスの飛沫距離の違いについて、厚紙とひもを使った三浦先生手作りの教具で体感しました。くしゃみによる5mの距離では、話を聞く子どもたちのほとんどが範囲内に入ることに驚いていました。



インフルエンザにかからないためには…



くしゃみをする、こんなにとぶんだよ！

## 準備しました！！

右の写真は、小山田美術館で開催中（～25日）の小山田小作品展を準備したときの様子です。先生たちで協力して作品を展示しました。

もう一つは、次の芋づくりに向けて、地域の須藤さんが芋畑を耕してくださっている様子です。来年度も立派な芋ができるといいですね。



高さを合わせて、見やすく並べたよ！



耕運機で芋畑を耕す須藤さん